



1 開催概要

内閣府は令和3年 10 月 13 日（水）に「第5回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。初めてオンラインで開催し、全国から 103 団体・148 名に出席頂きました。

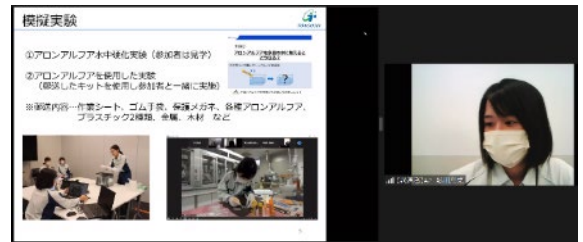
2 理工系女性人材の育成に係る基調講演

グーグル合同会社より「コンピュータサイエンス教育とジェンダーに関する取組」と題し、基調講演をいただきました。2020 年度から日本における ICT 教育が必修化・拡充している一方で、男女間でコンピュータサイエンスに対する意識の差が現れています。社会的奨励とロールモデルとの接触が重要であるとの認識の下、グーグル合同会社では「STEAM Career Magazine」の発行によるロールモデル紹介や、コンピュータサイエンスやソフトウェアエンジニアリングを身近に感じてもらうためのプログラム「Mind the Gap」を通して、ロールモデルとの交流や体験型ワークショップを展開されています。キャリアセッションの前後では、女子学生の意識に大きな差が生まれる等、確かな手応えを感じているとのことでした。

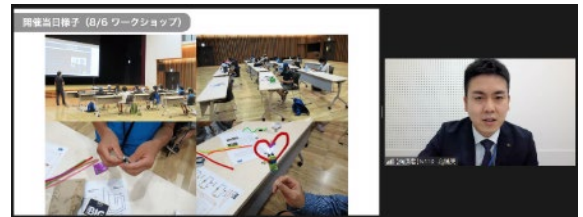


3 夏のリコチャレ取組事例発表

取組事例発表①として、オンラインで実験、実験器具紹介、女性社員との座談会を実施された、東亜合成株式会社に発表いただきました。ゴム手袋や保護メガネを含めた実験キットを事前に郵送することや、あらかじめ保護者の署名をいただくこと、オンラインのため頻繁に参加者に声をかけること等、工夫点についても御紹介いただきました。



取組事例発表②として、アマゾンデータサービスジャパン株式会社と長野県池田町の取組を発表いただきました。アマゾンデータサービスジャパンでは、オンラインでトークセッションやワークショップを開催しており、長野県池田町から公民館単位で参加させてほしいと依頼して実現した取組です。企業・団体と自治体が協力することで、地方の子供たちにも有力なコンテンツを提供できるという好事例です。



4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施に興味のある団体、自治体等、様々な団体に参加いただきました。グループディスカッションでは、イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点を発表いただいたほか、イベント実施に関する疑問点をぶつけたり、ノウハウを共有したり、参加者の間で活発に意見交換がなされました。

